

各位

会社名 株式会社TSIホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 下地 毅
 (東証プライム市場 コード番号 3608)
 問合せ先 経営企画部 戦略・広報 IR課 長谷川 俊介
 T E L 03(5785)6400

通期個別業績と前事業年度実績値との差異に関するお知らせ

2023年2月期 通期個別業績と前事業年度実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせします。

記

1. 2023年2月期 通期個別業績と前事業年度実績値との差異(2022年3月1日～2023年2月28日)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
2022年2月期 (A)	3,891	430	1,640	1,171
2023年2月期 (B)	2,452	△1,870	△492	△1,394
増減額 (B-A)	△1,439	△2,301	△2,133	△2,566
増減率 (%)	△37.0%	—	—	—

2. 差異の理由

2022年3月よりドメイン(ディビジョン)経営に伴う組織の効率化を図ったことに伴い、経営指導料が前事業年度実績と比べ14億39百万円減少しました。また、本社移転に伴い、備品や減価償却費の増加やコーポレート広告等により営業利益が減少しています。

経常利益の項目では、為替差益が93百万円増加したほか、借入金の返済に伴う支払利息の減少により、営業外損益が前事業年度実績と比べ1億68百万円増加しています。

特別利益の項目では、投資有価証券の売却益が前事業年度実績と比べて8億17百万円減少し、特別利益は10億77百万円となり、前事業年度実績と比べて8億94百万円の減少となりました。

特別損失の項目では、子会社株式の売却により5億65百万円の特別損失を計上したほか、関係会社整理損9億36百万円を計上し、特別損失は前事業年度実績と比べ3億62百万円増加しています。

税金面では、将来における課税所得額の増加により、繰延税金資産の積み増しが可能となり、税負担額が減少したため法人税、住民税及び事業税は△8億83百万円となり、前事業年度実績と比べ8億24百万円減少しています。

上記の項目の計上により、当期純利益は前事業年度実績値に対し25億66百万円減少しています。

以上